

学校名 薩摩川内市立水引小学校

校長名

柳田 健一

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			段階	人数	平均		段階	人数	平均	主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A	3	3.3	○学校便り、ブログ、新聞投稿等による情報発信を続けていく。	A	6	3.5	○毎月の「学校だより」に学校長の「魅力ある学校づくり」の方針や取組が示されている。文字も読みやすいように大きいのも良い。 ○学校便り等、地域にも配られ、伝わっていると思う。
B	8	B	5							
C		C								
D		D								
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	A	2	3.2	○各取組の成果が分かるように、細かく評価項目を設定した。 ○個別最適な学びに向けて、タブレットの活用と児童の対話活動を生かす取組に努める。	A	4	3.4	○目標設定され、努力されていると思う。 ○校長の提言もよく分かるし、行事等内容ははっきりしている。
B	9	B	7							
C		C								
D		D								
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	A	1	3.1	○魅力ある学校づくりに努め、自尊感情を育む体験活動や構成的エンカウンターなどで、仲間づくりの活動を行う。	A	8	3.7	○学校参観や諸行事を通して、児童が頑張っている様子がよく分かる。助け合い励まし合っどどの子も学校を楽しんでほしい。 ○授業参観時の全学年タブレット授業は、すばらしい。
B	10	B	3							
C		C								
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A	1	3.1	○いじめアンケートや学校楽しーとの活用で、早期発見に努める。 ○心の教育推進委員会で、職員への対応や外部機関との連携を検討する。	A	5	3.4	○よく努力されていると思うが、一人一人に目を当てたとき、不登校や集団についていけはしないか、目配りをお願いしたい。
B	10	B	5							
C		C	1							
D		D								
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	A	4	3.4	○KYTを活用した安全指導と防災マニュアルの共通理解を行う。	A	7	3.6	○安心メールなど細かに情報を出しているのでもいいと思う。 ○横断歩道を手をあげて渡った後、深々と礼をするなど、あいさつ面は、良いと思う。
B	7	B	4							
C		C								
D		D								
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	A	4	3.4	○コロナ感染状況を考慮しながら、地域行事には積極的に参加する。 ○保護者が参加してよかったと思えるような学級PTAの内容の工夫。	A	5	3.2	○コロナの関係で学校と地域との距離があるのは、残念である。地域で先生方の姿を見ることがない。 ○先生方も地域の行事等によく参加してもらった。
B	7	B	3							
C		C	3							
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A		3.0	○次年度の教育課程に毎日、掃除の時間を位置付ける。 ○掃除の意義を職員と児童が感じられる取組を行う。	A	7	3.5	○設営を含め、学びの環境づくりがよくなされている。学校主事さんが花苗をつくれるなど努力されている。
B	11	B	3							
C		C	1							
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	A	4	3.4	○毎月の安全点検を受けて、職員で修繕できる部分は、速やかに修繕を行う。	A	6	3.5	○よく整理整頓が行き届いている。 ○見た感じでは、点検管理は良好だと思う。 ○校庭の遊具等のペンキ塗りをして整備されていた。
B	7	B	5							
C		C								
D		D								
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A	4	3.4	○学級週報や学校便り等で実態を伝える。地域には、地域の代表が集まるような会で、説明する場を設ける。	A	3	3.2	○学校運営協議会資料では、詳しく伝わっている。保護者にも伝わっていると思うが、親が切実感をもっているかどうかは課題では。 ○保護者には伝わっているが、地域には伝わっていると思えない。
B	7	B	7							
C		C	1							
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A	1	3.1	○門松づくりや運動会の緑門など、保護者や地域の協力をいただいている。 ○授業の中で、地域の人材を効果的に活用できるように努める。	A	3	3.2	○保護者は協力していると思うが、もう少し父親が集まってもいいと思う。地域は、積極的には思わない。
B	10	B	7							
C		C	1							
D		D								

様式6 令和4年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
薩摩川内市立水引小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)				評価(数値平均)	主な意見		
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	○ユニバーサルデザインを取り入れた授業を小中で実践し、子供の学びにつなげるようにする。	段階	人数	平均	○本校の小中一貫教育は、本市で最初の取組で、他校より素晴らしいと思っている。 ○ここ数年、コロナ等で地域行事、学校行事が少なく、評価できる場がないと思う。
			A	2	3.1		A	5	3.4	
			B	8			B	5		
			C	1			C	1		
D		D								
12	(6)	薩摩川内元氣塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	○体験を重視し、子供の学びの課題解決につながるような活動を取り入れる。	段階	人数	平均	○平素の授業とは違う、児童の興味や意欲を高める機会になっていると思う。 ○楽しそうな内容であった。もう少し回数を増やしてもいいのかなと思う。
			A	4	3.4		A	4	3.4	
			B	7			B	7		
			C				C			
D		D								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	○英語の小中交流授業を行い、教師の資質を高めながら英語教育の充実を図る。	段階	人数	平均	○ALTの先生と楽しそうに英語の学習ができていた。 ○他校との違いが分からない。英語には、十分関わっていると思う。
			A	4	3.4		A	4	3.2	
			B	7			B	5		
			C				C	2		
D		D								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	○あいさつの大切を考える授業や指導を行う。 ○あいさつカードなどを用いて、自主的にあいさつができる習慣が身に付くような取組を行う。	段階	人数	平均	○元気な子供はいつもいますが、元気のない子供もいます。大半が元気よくあいさつしてくれます。 ○自ら進んであいさつしようとしな。
			A	9	3.8		A	6	3.4	
			B	2			B	3		
			C				C	2		
D		D								
15	(8)	子供たちは、地域の中で社会性のある行動ができたか。	段階	人数	平均	○人権教育、「考え、議論する」道徳の授業を行う。 ○校内でのボランティア活動を通して、児童の自主性を育てる。	段階	人数	平均	○地域の行事に積極的に参加していた。また、その時の様子も大変素晴らしかった。 ○地域で子供たちが参加する行事が減少し、残念である。
			A	2	3.0		A	4	3.4	
			B	7			B	7		
			C	2			C			
D		D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

6	コロナ禍でも学びを止めない方針や感染症対策を理解していただくとともに、実施方法や内容等を工夫して学校の教育活動に理解が得られるようにする。
9	子供の様子や教師の指導等の授業の実際を参観していただき、その後のPTAで説明・話し合いを行うことで、保護者が子供の学力・体力の実態を知り、取組等について理解・協力してもらえよう、授業参観・学級PTAの在り方を改善する。
10	現在も保護者・地域の協力をいただいているが、地域と学校が一体となった取組を模索していきたい。
13	県民週間や授業参観等で英語の授業公開を積極的に行う。校内環境も整備し、英語活動の様子が見える設営を行っていく。